

みかん

作付面積
全国 9 位

収穫量
全国 9 位



愛知県は「ハウスみかん」では、収穫量で全国 2 位です。蒲郡市や知多半島が主産地です。本来、みかんは秋から冬に収穫されますが、ハウス内で暖房しながら育てることで 4 月から 9 月にかけて収穫できます。

また、露地みかんでは、糖度を上げるために地面に雨水が地下に浸みるのを抑えるシートを敷いて栽培するマルチ栽培も行われています。

産地では、選果場で光センサーを使って、おいしさの指標となる糖度と酸度を測って出荷しています。そのため、皮をむかなくても、おいしさが分かります。

「ハウスみかん」

ハウスみかんは、露地で栽培されたみかんに比べて、果皮が薄く、果肉が軟らかく、その上、糖度が高く、酸味と甘味のバランスも絶妙です。

愛知県では、昭和 44 年に全国に先駆けてハウス栽培が始まりました。蒲郡市の「蒲郡温室みかん」、美浜町の「みはまっこ」などは、全国に名の通ったブランドです。

主な産地

蒲郡市、美浜町、東海市、南知多町、御津町

旬 ハウスみかん 4 月～9 月

露地みかん 1 1 月～（宮川早生）
1 月～（青島温州）

ぶどう

作付面積
全国 7 位

収穫量
全国 9 位



愛知県では、大粒で紫黒色の品種「巨峰（きよほう）」が多く栽培され、収穫量全国 4 位です。巨峰の種なし技術を確立したのは愛知県が全国で最初と言われています。

知多地域や西三河地域は、観光ぶどう狩り園が多くあります。

主な産地

豊橋市、東浦町、大府市、岡崎市、三好町、東海市、豊田市、新城市

旬 6～7 月（ハウス栽培）

7 月下旬～9 月（露地栽培）

なし

作付面積
全国 12 位

収穫量
全国 11 位



愛知県のなしの栽培は明治初期に始まったとされています。現在、豊田市、安城市、豊橋市などで栽培されています。

品種は、甘い「幸水（こうすい）」をはじめ、果汁が多く甘味と酸味がほどよい「豊水（ほうすい）」、大きくて貯蔵性がある「新高（にいたか）」、日本一大きくてジャンボなしの愛称で親しまれる「愛宕（あたご）」などが栽培されています。

産地では、光センサーを利用して果実をそのままの状態ですぐに糖度や色を検査し、おいしいなしを皆さんにお届けしています。

主な産地
豊田市、豊橋市、安城市

旬 7月～8月（幸水）
8月～9月（豊水）
9月～10月（新高）
11月～12月（愛宕）

もも

作付面積
全国 9 位

収穫量
全国 8 位



6月中旬から9月中旬まで様々な品種が収穫できます。

県内では、「白鳳（はくほう）」が最も多く栽培されており、7月上旬から中旬にかけて販売されています。

ももは、多くのビタミン類を含み、特にビタミンEを多く含んでいます。ビタミンEは、がんや動脈硬化、糖尿病などの生活習慣病の予防に効果があると言われています。

主な産地
豊田市、小牧市、犬山市、春日井市

旬 7月上旬～ 白鳳
7月下旬～8月中旬 白桃系